持続的成長を可能にする産業・金融ネットワークの設計

研究期間：平成20－24年度
申請額：123,514千円
責任機関　一橋大学

産業・金融ネットワークの機能不全が長期にわたる経済停滞の原因
(1) ネットワークの新陳代謝の低下
(2) 企業や銀行の相互不信

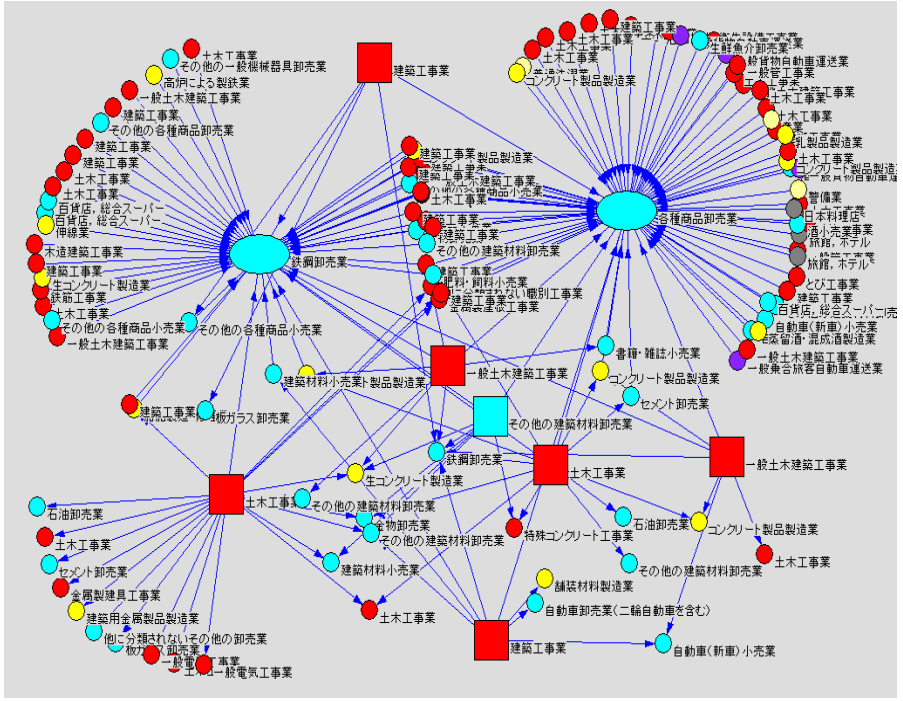
日本経済の「つながり力」をいかにして高めるか

骨太の方針2008
（平成20年6月）
成長力を高めるには
「つながり力」の強化がカギ

総括班（渡辺・植杉）

- 企業パフォーマンス・イノベーションに関する研究（小川・深尾）
- ネットワークの新陳代謝機能に関する研究（岡室・小野・内田）
- ネットワークの変遷に関する数量的解析（高安・水野）
- ネットワークの法制度に関する研究（柳川・小塚）

本研究が社会にもたらす効果

(1) 新たな「つながり」の生産性寄与を計測
(2) 新たな「つながり」を創り出す方策を提示
(3) 効率的・安定的なネットワークを支える法制度を提示
(4)「市場」と「ネットワーク」の二つの軸を据え，現実的・建設的な政策論議を提示

ある地域の仕入・販売ネットワーク